

「国語なんて勉強しなくても平気！」そう思っている人はいませんか？「日本人なんだから国語は出来て当たり前」なんていうことはありません。中には、特別に勉強しなくても得点できる人もいますが、やはり国語も正しい勉強をして、正しい知識を身につけていかなければなりません。

国語の高校入試問題の構成を見てみると、**読解力** (45%)、**表現力** (15%)、**詩・短歌・古文** (15%)、**文法** (5%)、**語句の意味** (8%)、**漢字の読み書き** (12%) の割合で出題されていることがわかります。ということは、国語で得点を上げよう、と思ったら、まず、読解力と表現力を養っていかなければなりません。

**法則 20 : 国語力は読解力・表現力で決まる！**



A) 漢字・語句は覚えよう！

漢字・語句などは、覚えるか、覚えなしかだけの勝負です。この2つに関しては、本気で「覚えよう！」と決めてコツコツと取り組むしかありません。特に教科書等で習う新出漢字は、その度ごとに何度も書く練習をして覚えていきましょう。そのときには、必ず「とめ、はね、はらい」まで正確に書いていくこと。漢字は、表意文字なので意味があります。音読みはもちろん、訓読みもしっかり覚えましょう。

漢字の配点は、実力テストで16%、入試でも12%と意外と高い方なので、確実に取れるように練習することが大切です。漢字練習帳を準備し、家庭学習の一つに組み入れて、間違い直しまできちんと行いましょう。早いうちにがんばって中3で習う漢字まで予習しておいてもいいでしょう。また、四字熟語や慣用句などの知識事項もまず、教科書に載っているものからどんどん覚えていくようにしましょう。熟語、短文形式で覚えると忘れにくいですよ。

**法則 21 : 漢字は表意文字なので意味をもつ。訓読みで理解しよう！**



B) とにかく「語彙力」を身につけよう！

国語は語彙力によって大きく差がつきますから、とにかく教科書・テキストなどで分からない語句が出てきたらその都度、辞書を引いて確認していきましょう。

「ちりも積もれば山となる」です。毎日辞書に触れていれば、辞書を引くスピードも出てきます。最初は大変ですが、慣れればなんてことはありません。がんばってやってみましょう。

**法則 22 : わからない語句は辞書を引く習慣を！**